

単位数	4	学科・学年・学級	普通科・2学年・ABC組
教科書	編解地理B(二宮書店) 新詳高等地図(帝国書院)	副教材等	新版三訂 最新地理図表GEO(第一学習社)

1 学習の到達目標

<p>1. 世界の地理的事象を系統地理的考察と地誌的考察を通して学び、地理的な見方や考え方を培いながら、現代世界を観る視野を広げる。2. 地図や統計、写真や地理情報の使い方や読み方を通して、地理的技能を身につける。3. 世界の人々の暮らしや多様性を理解しながら、地球規模の課題の解決に取り組む姿勢と資質を養い、日本の役割を考へて行動できるよ うにする。</p>
--

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	地理情報と地図	世界観の変化と地図	モートセンシングやGISによる地図が地球の現状認識に役立つことに気づかせ、地理情報が生活と結びついていることを理解させる。様々な時代の世界地図の読図により、人々の世界観の変化を理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査、ノート(ワークシート)の提出 授業内課題の取り組み状況
			地球儀と世界地図		
	5	地図と地域調査	地理情報の地図化	地球儀の活用や時差に関する学習から地球が球体であることを確認させ、1枚の世界地図は球面上の情報すべてを正しく表現できないこと、使用目的に応じて図法の異なる世界地図を使うことを理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> グループワークやペアワークなどの活動状況 授業態度等
			地図の活用		
	6	地形	身近な地域の調査	地上には営力により様々な規模の地形あることを大観させる。大地形・小地形それぞれの特徴、分布や形成要因について基礎的知識や概念を習得させ、地形と生活、自然災害との関係を考察させる。地形図の読図技能を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査、ノート(ワークシート)の提出 授業内課題の取り組み状況 グループワークやペアワークなどの活動状況 授業態度等
			中間考査		
7		地球内外がつくる地表のかたち			
		地殻変動でつくられた大地形			
7		大地の急激な変動			
		河川の地形			
7		海岸の地形			
		その他の特徴的な地形			
7		日本の地形と気候			
		期末考査			
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	9	気候	気候のしくみ	地球規模でみた気温・降水量・大気大循環、海洋や水の循環を取り上げ、それぞれの特色や形成要因を考察・理解させる。長期的におこる気候変動と、異常気象について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査、ノート(ワークシート)の提出 授業内課題の取り組み状況
			気候の地域性		
	10	自然と生活	気候変動と異常気象	世界の気候区分の方法や世界規模からみた植生・土壌の特色を理解させる。世界の気候帯を取り上げ、その分布や形成要因、気候と人々の生活との関連について考察させ、基礎的・基本的知識を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> グループワークやペアワークなどの活動状況 授業態度等
			世界の気候区分		
10		植生と土壌			
		熱帯の気候と生活			

		乾燥帯の気候と生活			
		中間考査			
11	環境問題	温帯の気候と生活	世界の気候区分の方法や世界規模からみた植生・土壌の特色を理解させる。世界の気候帯を取り上げ、その分布や形成要因、気候と人々の生活との関連について考察させ、基礎的・基本的知識を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、ノート（ワークシート）の提出 ・授業内課題の取り組み状況 	
		寒帯の気候と生活			
		日本の気候と自然災害	地球温暖化、砂漠化、森林破壊、大気汚染・酸性雨を取り上げて、それらを一覧しながら自然環境の諸問題に関する分布や形成要因を考察させ、基礎的・基本的知識を習得させる。解決に向けた国際協力の動きを理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークやペアワークなどの活動状況 ・授業態度等 	
12		地球温暖化			
		森林破壊			
		大気汚染と酸性雨			
		期末考査			
学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	1	EU	統合するヨーロッパ	国家の集合体としてのEUについて「地域の統合」に着目させ、それと歴史的背景、自然、産業、言語・宗教、都市と交通、地域変化、高齢化社会への対応と結びつけて地域的特色と地球的課題を考察・理解させ、基礎的・基本的知識を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、ノート（ワークシート）の提出 ・授業内課題の取り組み状況
			自然環境		
	2	農林水産業	多様な農業	世界の農業を取り上げ、それぞれの特色や分布、形成要因などについて考察させ、基礎的・基本的知識を習得させる。世界や日本の食料問題・課題を世界的視野に留意して概観させ、形成要因を考察させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークやペアワークなどの活動状況 ・授業態度等
			鉱工業の変化		
3	資源・エネルギー	農業地域の条件	世界の資源・エネルギーを取り上げ、それぞれの特色や分布、形成要因などについて考察させ、基礎的・基本的知識を習得させる。世界や日本の資源・エネルギー問題を世界的視野に留意して概観させ、形成要因を考察させる。		
			学年末考査		

3 評価の観点

知識・技能	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、結果を適切に表現しその過程や結果を適切に表現している。
資料活用の技能・表現	学習に役立つ情報を主体的に選択活用して、学び方を身に付けているか。
知識・理解	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。

4 評価の方法

定期考査の得点（考査点）ノートや作業プリントの提出・完成度と授業への参加姿勢（平常点）として総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

身近な生活空間から世界の国々まで地球規模で、自然や産業・人々の暮らしや課題を学習するのが地理です。地球市民として「歩く・観る・考える」地理学習を通して、現代世界への視野拡大と理解を深めよう。地理を学ぶことは、人生が2倍楽しくなることです。